

午後 試験

問 1

出題趣旨

プロジェクトマネージャには、プロジェクトの体制を構築し、予算、納期、品質などを管理してプロジェクトを円滑に運営することが求められる。プロジェクト立上げ時には、開発業務や採用技術などを勘案した上で必要な要員を選定してチームを編成するとともに、システムの利用部門の作業を明確にして利用部門と合意することも必要である。

本問は、プロジェクトの遂行に関して、システムの利用部門の作業が計画どおりに実行されなかったことによって発生した問題とその原因、及び問題を解決するために検討・実施した対策について、その対策がプロジェクトの納期や予算などを守るために適切な対策であると考えた理由とともに、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべき問題管理・組織要員管理に関する知識、問題を解決しながらプロジェクトを遂行するための能力・経験などを評価する。

問 2

出題趣旨

情報システム開発のプロジェクトマネージャには、問題を早期に把握し、適切に対応することが求められる。問題の兆候への対応が遅れると、品質、納期、費用に影響するような大きな問題になる場合もある。問題の兆候を早期に察知し、兆候の詳細や出現の背景を調査し、問題の本質を見極め、対応策を実施することが必要となる。

本問は、プロジェクト遂行中に察知した問題の兆候、兆候の詳細や出現の背景の調査、想定した大きな問題などについて、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべきリスク管理に関する知識、リスク管理や問題解決のための分析能力・経験などを評価する。

問 3

出題趣旨

プロジェクトの完了時にプロジェクトの計画と実績について分析して評価し、プロジェクト報告書などに文書化することは、プロジェクトのマネジメント上のノウハウを今後のプロジェクトに役立てるためにも重要である。

本問は、プロジェクトマネージャがプロジェクトで採用した取組について、その目的を踏まえた評価項目の設定、評価を行うために収集したデータと評価方法、評価結果、評価から得たマネジメント上のノウハウを今後のプロジェクトで役立てるための工夫を、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべきプロジェクトの計画と実績の差異を適切に分析・評価する能力、ノウハウを文書化し、今後のプロジェクトの参考に資する能力などを評価する。